

彩りの、その先へ。

今日の未知は、未来への道

1931年、当社は顔料の国産化を目指して創業しました。
以来、90余年の長きにわたり、社会を、そして人々の暮らしを
さまざまな「彩り」によって豊かにするために、
顔料の「有機無機合成技術・顔料処理技術」から始まり、
顔料粒子を微分散させて着色したいものに彩を与える「分散加工技術」により
各種着色剤やインキへ事業を展開してきました。
また、素材を取り扱うなかで、「素材＝樹脂」の合成技術も獲得し、
今日まで発展してきました。

そして当社技術は「彩り」にとどまらず、
素材そのものに、熱伝導性や電気導電性などの機能を付加する技術も
包含するように進化してきました。

こうした当社のコア技術とともに、
生産現場力、そして顧客ニーズへの対応力を進化させることにより、
当社の製品は、多くの工業製品に使用されてきています。
それらは、直接的に消費者の目にふれるものばかりではありませんが、
皆さまの生活を豊かにする素材として、社会を支えています。

このように、私たちは「彩り」にとどまらず、
より幅広い「機能性マテリアル」分野を開拓し、
素材でエクセレントカンパニーとなるべく、新たな価値の創出に取り組んでいます。

私たちは、人、新しいこと、そして未来に対する好奇心を常にもち
今日までになかった製品や技術、ニーズなどさまざまな「未知」と向き合い、
「その先」にある新しい可能性に、挑戦し続けます。

—— 今日の未知は、未来への道

身の周りにある 大日精化工業

もし製品に“色”がなかったら、それは非常に味気ないものです。彩りと機能性を持った“素材”を通じて、さまざまな分野で皆さまの暮らしを豊かにしていきます。

- 2 屋根(遮熱塗料)用顔料
- 3 ガレージ屋根用着色剤
- 4 じょうろ用着色剤
- 5 育苗ポット(生分解性樹脂)用着色剤
- 6 ポリ塩化ビニルホース用着色剤
- 7 スポーツウェアなどの合成皮革(合皮用ポリウレタン、透湿性ポリウレタン)
- 8 時計バンド、ベゼル(成形用ポリウレタン)

ウィンドウフィルム用着色剤

9 自動車

天井材・マット等合成繊維用着色剤

合わせガラス用色材

ケーブル被覆用コンパウンド

シート用ポリウレタン・合成繊維用着色剤

ハンドル・インパネ用着色剤、表面処理剤

電池材料

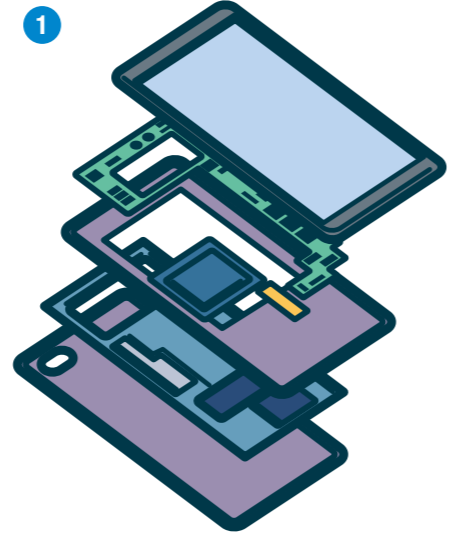
カーナビ・モニター用材料

外装塗料用顔料

コネクタ用コンパウンド、ワイヤーハーネス用着色剤

バンパー用樹脂コンパウンド

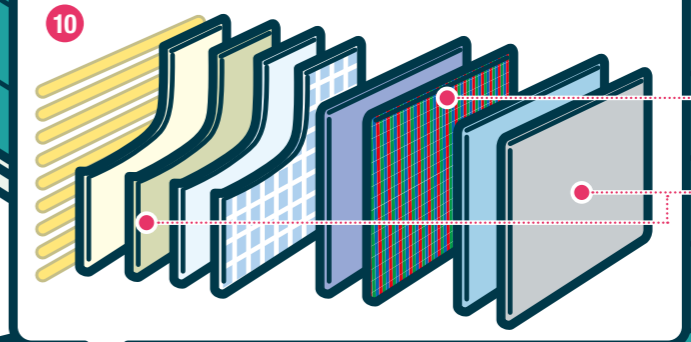
- 1 スマートフォン
使用されている製品
- ファインポリマー事業部製品
 - グラビアインキ事業部製品
 - 合樹・着材第2事業部製品



2

17

10



カラーフィルタ

偏光板

- 10 液晶テレビ
- カラーフィルタ(顔料)
 - 液晶ディスプレイ部材=偏光板(紫外線硬化型コーティング剤)
- 11 衣服用着色剤、捺染剤
- 12 容器用着色剤
- 13 化粧品(生分解性微粒子)
- 14 化粧品容器用紫外線硬化型コーティング剤、着色剤、グラビアインキ

15

26

25

16

20

21

18

23

24

- 15 フローリング・クッションフロア用電子線硬化型コーティング剤、着色剤、グラビアインキ
- 16 リビングボード、木製棚などの化粧合板用着色剤、グラビアインキ
- 17 室内壁紙用電子線硬化型コーティング剤、着色剤、グラビアインキ
- 18 カーペット(合成繊維)用着色剤

- 19 ソファ(合成皮革用ポリウレタン樹脂)
- 20 コピー機のトナー用顔料、着色剤
- 21 インクジェットプリンターインキ用顔料、着色剤
- 22 家電・OA機器などの表面加飾材料(紫外線硬化型コーティング剤、接着剤)

- 23 包装フィルム、菓子袋(油性・水性グラビアインキ、水性フレキシインキ、溶剤系・水系・無溶剤ポリウレタン接着剤)
- 24 トレー用着色剤
- 25 ボトルラベル用インキ
- 26 ペットボトルキャップ用着色剤

12

13

14

